

破碎分離設備を用いた廃PTPシートの マテリアルリサイクルスキームの検討開始について

松田産業株式会社（代表取締役社長：松田芳明、以下「当社」）は、このたび、大同樹脂株式会社（代表取締役社長：内田依子、以下「大同樹脂」）と技術提携し、「廃 PTP シート」のマテリアルリサイクルスキームの構築に向け破碎分離設備を導入するため、当社関第二工場（岐阜県関市）において産業廃棄物中間処分業許可取得の手続きを開始致しました。

PTP（Press Through Pack）は医薬品の錠剤・カプセル剤の包装形態の1つであり、その利便性や不可逆性から広く普及しています。しかし製薬メーカー様の製造工程では、薬機法を初めとする厳しい規格を遵守する為に、端材が多量に発生しており、「ポリ塩化ビニル（PVC）」「ポリプロピレン（PP）」といった「プラスチックフィルム」と「アルミ箔」からなる「複合材料」であることから、それぞれマテリアルリサイクルされていない現状にあります。

本検討では PTP のプラスチックフィルムとアルミ箔の分離に特化したリサイクル設備を導入することで、プラスチック・アルミそれぞれの国内資源循環を目指します。焼却処理を伴わず CO₂ を発生させないリサイクルスキームを構築することで、製薬業界におけるカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に寄与できるものと考えています。

また本設備を用いて大同樹脂の「分離技術」と、当社が培ってきた様々な「金属スクラップ原料」のノウハウを融合させることで、メーカーから排出される PET フィルムなど、その他「プラスチック／金属複合材」についても新たなリサイクルスキームの構築を検討して参ります。

<*PTP 破碎分離設備の概要>

設置所在地	松田産業株式会社 関第二工場（岐阜県関市のでみヶ丘 10）
事業内容	廃 PTP シートのマテリアルリサイクル事業
設備名称	PTP 破碎分離設備
処理能力	3.2t/日（8h/日稼働の場合）

*手続き中の内容の為、変更が生じる可能性があります

<破碎分離設備及び分離後物の写真>



<本件に関する問合せ先>

松田産業株式会社 環境ソリューション事業部
TEL：03-5909-5106